
Fate story

じょっぱ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

F a t e s t o r y

【Nコード】

N 5 6 9 9 L

【作者名】

じよっぱ

【あらすじ】

主人公は、普通の高校生。

しかし、世界は普通ではなかった。

突然、出会った天使は言った。

「ここは神様が造り出した二つ目の世界」と。

入学式

入学式

「あー、ダルい。動くのがダルい。喋るのもダルい。」

「じゃあ喋るな。朝からうつせーんだよ。」

「だって仕方ないじゃん？何でこんな山の上に高校があんだよ？」

私立春桜学園。俺と、さつきからうるさいやつ

あおき けんと
青木健人が

行く高校だ。

「……てめーがこの高校選んだろーが。ぐちぐち言うな。死ぬ。」

「え？何故？何故最後に死の言葉を俺に投げ掛けたの？」

全くもってうるさいやつだ。コイツのおかげで入学式早々に俺まで
変人扱いされちまう。ここは………！

「……………」

無視を決め込む事にした。

「オイ、てめつ？……………いいだろう。そっちがそついう気ならこっ
ちにも考えがある。」

何をしようってんだ？まあ、コイツの事だからどうせ……………

「そのズボン貰ったあああああ？？」

「読めてんだっ……よっ！！」

俺は青木の気持ち悪い腕をかわし、その勢いで後ろ回し蹴りをヤツの脇腹にHitさせた。

「痛恨の一撃っ？」

と言つて青木（変態）は地にひれ伏したが

「…朝から、あんな大声で叫んじゃつて…。あの制服春桜学園よねえ…。恥ずかしくないのかしら。」

「マジあの人達と同じクラスになりたくないんだけど。」
…すっかり目立ってしまった。

「おつ。信？俺ら同じクラスじゃん？ヨロシク（´o´）ノ？」

「俺がクラス表をまだ見てないのに言うな。っーか、また同じクラスかよ…。テンション下がるわ……。」

「ねえねえ？可愛い子とかいるかなあ？ヤツバ、めっちゃ楽しみなんですけど？」

「そろそろ、入学式始まるし急ごつと。」

「イヤでもスク水は中学生までだみたいと言うヤツがいるけれども成熟した体の女の子が着るのもそれはそれでいいんだよねでも巫女さんって何であんな萌えるんだらだってあんなただの白い

「

教室

「…はあ。やっと終わったよ。あのクソハゲ校長の野郎、ブルマについて30分も語ってやがった。」

「いや、あの校長分かってるようん。」
一生語り合ってる、クソ青木。と言おうとした時、先生が入ってきたので俺は自分の席に着いた。

「……今日から1年7組を担当する事になった尾嶋美枝子だ。…よろしく。」

…何かやる気なさそーな先生だな、オイ。

「それじゃ、まずは自己紹介から…。1番の青木。」

「ういつす？青木健人つす？彼女大募集中？みんな遠慮しないでバンバン俺に告っちゃってえ？……え？いや、本当に遠慮いらないうす。…いや、ホントに。……いや泣いでないっすよ？俺ば、でんれい（年齢）＝かどじよ（彼女）いだい歴の人じゃないんれす…。信じてくびゃさい……………」

何か急に泣きはじめた！！クラスの9割いや、10割の人間が「何

故？」という言葉を頭に思い浮かべているだろう。何だこの空気。重すぎる。ここは精神と時の部屋か？

…だが、一人だけ全く動じていない人物がいた。

「…そうか。次。」

まさかのスルー！？嘘だろ！？…この先生ハンパねえ…。

そうして着々(?)と順番は進んでいき、遂に俺の番になった。

「えと、高撫たかなで 信しんです。よろしくお願いします。」

…まあ、こんな感じだな。普通が1番！！そう思っていると…。

「オイオイ、マイフレンド。何てつまらない自己紹介なんだ？」

青木が邪魔してきた。クラスメートから向けられる「え？まさかのアイツの友達？」的視線。

…どチクショー！折角普通っぽくなってたのに！

…まあいい。まだやりなおせるさ。……………泣いてないもんっ！

と、いった調子で俺の入学式は終わった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5699/>

Fate story

2010年10月20日13時22分発行